



看護補助者標準研修—看護補助体制充実加算該当パッケージ (オンデマンド講義個人受講 + 演習)

研修について

診療報酬において、地域包括医療病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟、障害者施設等の施設で、入院基本料「看護補助体制充実加算」の算定要件に該当する研修です。

受講対象

奈良県内の医療機関で就業中の看護補助者
介護福祉士の資格を有する者は除く

受講方法

インターネットを利用したオンデマンド講義（10 時間）を受講後、120 分以上の演習を受講する
※オンデマンドは指定日に奈良県看護協会を受講できます。

日時／場所

オンデマンド講義受講期間
2025 年 1 月 7 日（火）～2025 年 2 月 17 日（月）
演習①自施設：2025 年 3 月上旬までに実施
②奈良県介護実習・普及センター（県営福祉パーク内）
：2025 年 2 月末～3 月上旬頃
2 回開催予定（詳細は後日）
定員 選考 40 名

受講料

看護補助者 1 名につき（オンデマンド・演習受講）
申込者（医療機関の看護管理者）が
会員の場合 6,600 円（税込）
非会員の場合 13,200 円（税込）

修了証

すべてのオンデマンド講義および演習を終了した方に発行

申し込み期間

2024 年 12 月 12 日（木）8：30 ～
12 月 19 日（木）13：00 まで

申し込み方法

施設代表者様が会員の場合は奈良県看護協会ホームページの manaable サイトから、施設とりまとめて申し込んで下さい。
施設代表者様が非会員の場合はmanaable からの申し込みはできませんので下記、看護協会担当者まで連絡をください。



《受講の流れ》

- 1、＜施設代表者様が会員の場合＞申し込みは**施設とりまとめ**で申し込んで下さい。
 - 1) 施設とりまとめのため「施設申込用メールアドレス（ID）／パスワード」が必要です。
ID／パスワードの申請が未だの施設様は、
奈良県看護協会ホームページ ⇒ manaable 研修等一覧・申込み ⇒ 施設代表者向けのID／パスワード申請書から用紙をダウンロード ⇒ 奈良県看護協会までFAXをして下さい。（ID／パスワードは郵送致します。郵送までに2週間かかりますのでご注意ください）
 - 2) 施設代表者様は**受講者をmanaableに非会員**で登録して下さい。
 - 3) メールアドレスはオンデマンド受講が可能なアドレスを登録して下さい。但し、奈良県看護協会でもオンデマンド受講を希望される方は連絡用のアドレスを登録して下さい。
 - 4) **オンデマンド受講**は①自宅・施設で受講 ②奈良県看護協会でも受講（パソコン・ネット環境がない場合）を選択できます。申込時にどちらかを入力してください。

① 自宅・施設で
オンデマンド受講



1/7 から申込のアドレスに送信されたURL・ID・パスワードからログインして受講ください。

① ②各々の方に
受講日が近づきましたら、
申し込みのアドレスにURL
IDなどが送られてきます。

②奈良県看護協会でも
オンデマンド受講

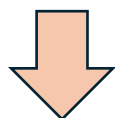


パソコンと
研修室を準備
します

manaable 申込書にある指定日程から2日間を申し込み時にチェックしてください。受講決定後に調整をし、詳細をメールでお知らせします。

- 5) **演習受講**は ①自施設で受講 ②奈良県介護実習・普及センター（県営福祉パーク内）で受講を選択できます。申込時にどちらかを入力してください。

① 施設で演習受講



演習内容・方法に関しましては、受講決定後に施設様と看護協会担当者と打ち合わせを致します。

- ★演習日は、受講者がオンデマンド受講を終了している日時で計画する。
- ★演習実施後に所定の様式（演習終了者名簿）を奈良県看護協会に2025年3月18日13:00までに担当者にメール又は郵送で提出する。
（所定の様式は、奈良県看護協会ホームページ⇒教育・研修⇒看護補助者標準研修からダウンロードをして下さい）

②奈良県介護実習・普及センター
（県営福祉パーク内）で演習受講



- ★2月末～3月上旬頃 2回開催予定 グループで集合演習予定
- ★受講決定後に受講日程の調整をし、詳細をメールでお知らせいたします。

《オンデマンド講義受講 約 600 分》



《研修目的》

- ★ 看護チームの一員として、看護師の指示のもと、安全な看護補助業務が行えるために必要な知識や技術を習得できる。
- ★ 直接ケアを主として行う看護補助者向けに必要な知識や技術を習得し、看護チームとして質の高い看護を提供できる。

章	単元名	章の目標	時間
医療機関で働く看護補助者の役割と業務			
1	医療チームの機能と役割	・ 医療チームにおける看護の役割を知り、看護チーム	講義 20分
	1) 医療チームにおける看護の役割	における看護補助者の役割と責任について理解できる。	
	2) 看護補助者の役割と責任	・ 看護師からの指示や看護チームにおける情報共有の	
	3) 情報共有の必要性	重要性について理解できる。	
2	看護補助者の業務	・ 看護補助者の業務範囲と業務内容を理解できる。	講義 30分
	1) 看護補助者の業務範囲と業務内容	・ 夜勤帯も含め、病棟の1日の流れを踏まえた	
	2) 病棟の1日の流れと勤務体制・業務の特徴	勤務体制や業務の特徴についてイメージができる。	
	3) 夜勤帯の特徴と留意点		
3	看護補助者に求められる倫理	・ 看護補助者として求められる倫理や職業意識に	講義 20分
	1) 相手を尊重する基本的考え方と態度	ついて述べられる。	
4	看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術		講義 20分
	①医療安全	患者の安全を守るための基礎知識を学び、医療	
	1) 医療安全組織体制、事故発生時の対応	事故を起こさないための注意点と対応策を考え	
	2) 急変時の対応	られる。	
5	看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術		講義 40分
	②感染予防		
	1) 清潔・不潔の概念		
	2) 標準予防策	・ 院内感染について学び、具体的な感染対策を述べ	
	・ 手洗い、手指消毒	られる。	
	・ 個人防護具の着脱		
	3) 医療廃棄物、ごみの分別		
4) 起こりやすい院内感染			
6	看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術		講義 25分
	③労働安全衛生	・ 医療の場で健康障害を引き起こすリスク要因と	
	1) 健康障害を生じるリスク要因	自己を守るための対策について述べられる。	
	・ 放射線・化学物質及び発がん性物質対策		
	・ 腰痛対策		
	・ メンタルヘルス対策		
・ 職場でのハラスメント対策			
—	確認テスト	6問	—

章	単元名	章の目標	時間
直接ケア総論			
1	直接ケアに関わる医療安全	・患者援助時に起こり得るリスクについて考え	講義 60分
	1) 患者誤認防止	安全な援助を実施するための方策を述べられる。	
	2) 転倒・転落防止	・KYTを学び、実際の援助場面でのリスクを予知し、	
	3) スキンケア防止	ケアにあたる際にとるべき対策を述べられる。	
2	患者・患者家族とのコミュニケーション	・患者・患者家族との良好なコミュニケーションをとるための方策について述べられる。	講義 60分
	1) 良好なコミュニケーション		
	2) 患者理解		
—	確認テスト	10問	—
直接ケア各論			
	身体の清潔に関する業務		講義 120分
	1) シャワー、入浴介助		
	2) 清拭	・患者の安全を考慮し、身体の清潔に関する業務を	
	3) 手浴・足浴	遂行するための技術を習得できる。	
	4) 洗髪		
	5) 口腔ケア		
	6) 洗面と整容		
	7) 寝衣交換		
—	確認テスト	2問	—
	排泄に関する業務		講義 50分
	1) 排泄介助 (トイレ・ポータブルトイレ・尿器・便器)	患者の安全を考慮し、排泄に関する業務を遂行するための技術を習得できる。	
	2) おむつ交換		
—	確認テスト	2問	—
	食事に関する業務	患者の安全を考慮し、食事に関する業務を遂行するための技術を習得できる。	講義 50分
	1) 食事介助		
	2) 配下膳		
—	確認テスト	2問	—
	安全安楽に関する業務		講義 60分
	1) 体位変換	患者の安全を考慮し、安全安楽に関する業務を遂行するための技術を習得できる。	
	2) 温電法。冷電法		
	3) 見守り		
—	確認テスト	2問	—
	移動・移送に関する業務		講義 50分
	1) 歩行介助	患者の安全を考慮し、移動・移送を遂行するための	
	2) 入院、検査、病棟移動のための搬送 (車いす、ストレッチャー)	技術を習得できる。	
—	確認テスト	2問	—
※確認テストは、正誤に関わらず次の科目に進めますが、テスト後にポイントを押さえた解説を視聴することで間違えた内容についての知識の確認・定着を図って下さい。			



《奈良県看護協会の演習内容》

《研修目的》

- ①患者の自尊心や羞恥心に配慮し、安全に床上でおむつ交換、陰部の清潔ができる。
- ②患者の安全を考慮し、誤嚥予防の体位ができる。
- ③安心安楽な体位変換が出来る。
- ④車いすを用いて安全に移動・移乗が出来る。

演習項目	演習内容
A. 身体の清潔に関する業務	長期臥床患者の陰部の清潔
B. 排泄に関する業務	長期臥床患者のおむつ交換
C. 食事に関する業務	誤嚥予防のための体位
D. 安全安楽に関する業務	①床上の体位変換 ②表皮剥離予防の対策 ③腰痛予防対策
E. 移動・移乗に関する業務	①車いすの基本的操作方法 ②立位が不安定な患者の車いすへの移乗



タイムスケジュール ※1Gは10名程度

時間	1G	2G
30分	オリエンテーション・演習ガイド	オリエンテーション・演習ガイド
40分	A・B	C・D・E
40分	C・D・E	A・B
20分	演習のまとめ	演習のまとめ

講師予定

- A・B は看護師(オムツフィッター資格者)
 C・D・E は理学療法士

